



石神井南中学校 学校だより

令和 2年度 第 9 号
発行日 3月15日(月)
練馬区立石神井南中学校
校長 田邊 克宣

「令和2年度の結びに」

校長 田邊 克宣

学校では椿が満開となり、季節もだいぶ春らしくなってきました。

東日本大震災から10年の年月が流れ、当時3歳から5歳だった生徒たちは、覚えているのでしょうか。風化させることなく、備えの気持ちを忘れないように、家庭でも折に触れて話題にさせていただければと存じます。

さて、昨年3月に全国で一斉休校となってから、早一年が経ちました。

この間、ご家庭においても、様々な対応・制約の下、過ごされてきたことと思います。そうした中であっても、本校の教育活動に対する大きなご理解とご協力をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。今年度は、行事、公開等で来校いただく機会がなく、なかなか普段の学校生活の様子をお伝えできませんでした。学校ではどうなのかなど、気になることがございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

昨年末に実施した学校評価アンケートにお寄せいただいたご意見に対しては、一つ一つ真摯に対応したいと考えております。正解が一つとは限らないものも多く、そこで、コミュニケーションに基づく相互理解と、互いの歩み寄りによって、その一つ一つの「最適解」を見出していきたい、そうした思いで、今回、大部の報告書としてお出しいたしました。学校は社会の縮図といわれます。個を尊重し、多様性を受容する、真に民主的な社会を構築するために、まず、学校が範を示したいと思っております。

本校は、今年度末で満60周年となります。これを機に、次の10年、30年を見据え、良き伝統は継承しながら、時代とともに変えるべきことを見定め、変革に取り組んでいきます。

今年度は、女子のスラックス着用を認めました。セーラー服の上着に合わせるの難しいということは承知の上で、標準服を改定するには、相当な準備期間が必要であり、まずはできることから着手いたしました。今後さらに検討をまいります。

ICT機器の環境整備については、練馬区で一斉配付したタブレットの利活用を推進するために、「ラインズeライブラリー」という学習ソフトを、本校独自に契約いたしました。小学校1年生から中学校3年生までの学習・復習・確認テストができるアプリです。使用に関しては、追ってご連絡いたします。

来年度は、新学習指導要領の全面実施となります。本校でもそれに基づいた教育課程の編成を進め、年間予定については通常どおりの策定をいたしました。今後、練馬区のガイドラインも再改定される予定とのことではありますが、現状を見る限り、諸々の制限がすぐに解除となる見込みは薄いと考えております。各教科の学習内容については、調理・歌唱・実験等、現行ガイドラインで制約のあるものに関しては、次年度も先送りの形で年間指導計画を立ててまいります。また、評価評定の方法についても、新たな評価の観点が取り入れられることとなりました。本校でも、教員研修会を開いて研鑽を重ねており、評価評定については、次年度、改めてご説明申し上げます。

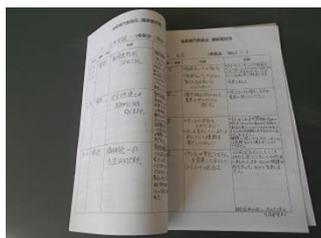
新型コロナウイルスに関しては、変異種の増加もあり、感染拡大の第4波も取り沙汰される中、今しばらくは感染防止対策の徹底を図ってまいります。引き続き、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

令和3年度は、60周年記念式典を一つの契機として、新たな石南中を構築していくスタートの年となります。卒業していく3年生が残してくれたよき伝統を財産として引き継ぎ、さらに発展させるべく、教職員一同一丸となって邁進してまいります。

激動のこの一年、保護者並びに地域の皆様の多大なるお力添えに感謝申し上げ、令和2年度結びのご挨拶とさせていただきます。

◇石南中が大事にしていること◇

石南中の特徴の一つに、生徒の自治意識の高さがあります。そして学校も、生徒の自治能力の育成を大切にしています。それは、多くの学校では行事が精選され、生徒総会を一年に2回実施する学校は当たり前ではなくなってきた中、本校では例年、前期と後期の2回を実施してきていることから分かります。



写真は議案書

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一堂に会する活動はもちろんのこと、話し合い活動にも大きな制限がかかる状況もあり、後期生徒総会は残念ながら例年どおりの形で実施することはできませんでした。しかし、生徒総会は、生徒が自分たちの手で学校生活をより良くしていくための最も大切な会議の一つですから、たとえ例年どおりの方法による実施は叶わなくても、その精神を失うことなく、後期生徒総会の代替として書面の読み合わせという方法で、2月末に実施することができました。その陰には、生徒会役員をはじめ各専門委員会が可能な範囲で集まり、準備を重ねた努力があります。

議案書の中に随所にみられるのは、自分たちで考え行動しようとする意欲です。単に前年踏襲とするのではなく、自分たちのオリジナルを大切にしながら取り組もうとする工夫が感じられます。また、各委員会に対する意見や質問も数多く出されており、活動状況を互いに確認し合う姿勢も立派です。このように、公平な選挙で選ばれた生徒会役員によるリーダーシップのもと、生徒一人一人が自分たちの学校生活について主体的に考え、行動しています。この営みは、皆さんが数年後、社会の担い手となり、より良い社会を作っていくための社会参画につながっていきます。世界には公平な選挙さえ当たり前ができない国がたくさんあります。そのような国々で暮らす人々と比べて日

本は平和だと思えるかもしれません。でも、平和だから自分は何も考えなくてよいと思うのであれば心配です。私たちの暮らしにも、課題はたくさんあります。日頃から関心をもつこと、考えをもつことが大切ですね。

(副校長)

◆部活動や委員会活動の再開◆

区の方針を受け、3月8日から放課後の活動が再開しました。十分なコロナ対策の上で、短時間の活動ですが、久しぶりの活動に、とても嬉しそうな姿が印象的です。



委員会活動のようす



部活動のようす

◇地域の方々に支えられて◇

地域未来塾では、本校を卒業した大学生が講師となり、放課後、生徒の学習をサポートしてくれました。今年度は週3日開設し、1、2年生が任意で参加しました。それぞれ成果があったようです。

2月の下旬、それまで少々淋しかった花壇が、たくさんのお花で明るく彩られました。作業には、地域の皆さんがお手伝いをしてくださいました。大学生や地域の皆様、ありがとうございました。



地域未来塾のようす



中庭の花壇

□卒業式に向けて□

第60回卒業式を3月19日に控え、3年生にとっては、石南中を学び舎として過ごす学校生活もいよいよ残りあとわずかとなりました。仲間や先生方との日々をかみしめながらの数日間ですね。卒業式では、後輩たちも教室から参列します。これまで石南中を立派に引っ張ってきてくれた皆さんらしく、有終の美を飾ってください。